

公表日

2025年 12月 16日

事業所名

こばんはうすさくら 岩槻教室

保護者等数(児童数) 22名 回収数13件(割合59%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	3		1	運動する時間があり楽しそう。	机上の学習や運動など、幅広く活動を取り入れています。今後も継続してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11			2	いつも丁寧にみでもらっている。	安全面や子どもの特性に合わせた配慮調整を今後も継続してまいります。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	10	1		2	階段が長いので、車いすや足の不自由な人はどうしているのか。	車いすのご利用者さんは在籍していません。歩行が難しいお子さんは職員が抱っこしたりサポートすることで通所しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12			1	清潔だと思う。	インフルエンザをはじめとした風邪が流行る時期となりました。毎日の掃除に加えて消毒や温度管理も行っています。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13				自宅で感じることと同じ内容の話を聞き、子どものことをよくみてくれていると感じている。	このようなご意見とてもありがとうございます。支援の視点が固定化しないよう、日々の振り返りと保護者様や関係機関との連携をこれからも大切にしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13				日々の様子についてアプリ上での共有も頂き助かっています。	情報共有は今度も大切にしていきたいと思っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12			1	様々なプログラムがある。	お子さんが様々な経験ができるように今後も工夫してまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	4	4		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13				いつも丁寧に対応してくれる。	運営規定や料金などは複雑なものが多い印象ですが、丁寧に説明したうえで疑問点があればいつでもお答えしてまいります。
保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13				いつも丁寧に対応してくれる。	定期的な面談の実施を継続していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	4	5		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	2	1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12		2	7	4	いつも迅速に対応してくれる。

保護者への説明等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12		1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12		1	アプリで日々の活動を共有してくれる。	ブログやお便りを発行しています。ぜひご覧ください。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されているだと思いますか。	12		1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2	2			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11		2			
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11		2			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12		1	何かあるとすぐに連絡てくれる。	事故やケガのないように体制を日々整えてまいります。何かあれば速やかな連絡をします。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13			いつも楽しく利用している。	お子さんが前向きに通うことがなにより1番大切だと思っています。言葉にならないお子さんの感情にも気を配りながら、丁寧な支援ができるように職員一同取り組んでまいります。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	1	1	行っててしまえば楽しんでいるが、どうして自分だけ勉強しないといけないのかという気持ちになっている。 いつも楽しく利用している。	同上	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13			いつも楽しく利用している。	同上	

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表日

2025年 12月 16日

事業所名

こばんはうすさくら 岩槻教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	19	3	物品整理ができる、広々と使えるようになった。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	21	1	臨機応変に配量を教えてくれる 管理者が実際に細かく丁寧確實な配置をしていると思う	時間帯によってのはらつきが大きい。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	21	1	清掃除菌など毎日丁寧になされている。 ロッカーに関しては写真などを使って分かりやすく工夫されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	22			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	20	2		個別で落ち着いて過ごせる場所を作りたい。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	20	2	定期的な職員面談がある	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	21	1	自分は把握しきれていないと感じる。 日々いたく意見に関しては職員間で情報共有できている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	21	1	定期的な会議を実施し、参加していない職員にもわかりやすく共有し、工夫されている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15	7	他教室との交流で気づきを得ている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	22		研修の案内が来るとき来ないときがある。 感染症や虐待の研修が行われている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	22			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	21	1		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	22			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	22		支援計画の共有がしっかりとされている	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	21	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	22			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	20	2	毎月複数の職員の意見をまとめ立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	22		新たな試みも行っている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	22			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	22		毎日朝礼を実施し、情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	17	5	送迎終了後に共有をしている。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	21	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	21	1		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	22			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	19	3		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	22		いろいろな関係者と打ち合わせする光景をよく見る。	
関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	21	1		
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	18	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	6	16	地域のイベントにも参加していきたい。 保育園の園庭開放などに参加するのはどうか。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	22			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	11		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	21	1		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	22			
保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	21	1		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	22			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	15	ニーズは家庭によって異なるので、よく検討している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	22			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	22		ブログで発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	22		鍵付きの扉に保管されて管理されている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	22			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	12	10		

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	21	1	定期的に様々なトレーニングをしていると思う。毎月避難訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	21	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	22		対応表が職員室に掲示してあり、分かりやすくなっている。 特定の職員に偏ることなく、情報共有できる体制が整っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	22			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	22			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	21	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	20	2		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	21	1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	20	2		